

アベノミクス緩和政策の資金循環

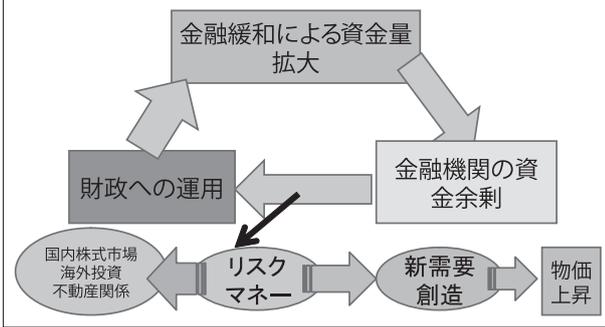


図 3

成長産業の空洞化

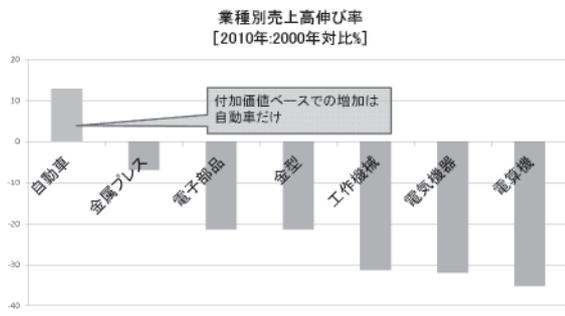


図 4

最後に、外政と内政の捻じれについて論じた。日本の経済構造は2011年以降、貿易収支は赤字幅が拡大し、所得収支（日本企業の海外からの送金等）の黒字で経常収支の黒字が保たれている。

米韓FTAは、批准後に韓国の国会で強行採決により可決された。米韓FTA協定は、①サービス市場開放の

Negative list条項、②Ratchet条項、③Future most-favored-nation treatment条項、④Snap-back条項、⑤ISD条項、⑥Non-Violation Complaint条項、⑦韓国政府が規制の必要性を立証できなければ追加に市場開放、⑧米企業・米国人には、韓国の法律より米韓FTAを優先適用、⑨知的財産権を米国政府が直接規制、⑩公企業の民営化を進めること、が含まれ、韓国国内の矛盾が露呈しつつあり、矛先が日本に向けられていることを示した。

TPP等の政策交渉については、BATNA (Best Alternative to Negotiated Agreement) を理解することが重要であり、TPPの合意ができなければどうするかまで考える必要があると、まとめた。

講演後の質疑応答では、TPPに対するマスコミの反応について質問があり、マスコミの一部はTPPの本質を理解しているが、政権から離れるわけにいかず、内閣に寄り添う報道となっている。米韓FTAが早急に決まった理由は何か、との質問では、韓国には北朝鮮問題、国内経済が小さいこと、政権に対する米国からの揺さぶりがあったためと説明された。米国のTPP交渉担当者は弁護士が中心ではないか、との質問に、その通りだが日本の弁護士は、法廷弁護士ばかりで渉外弁護士が少ない。交渉できそうな弁護士は、国際機関に勤めている人ぐらいで、人材不足であるとの指摘であった。

◇

約2時間にわたり、北海道から日本国内、海外まで、幅広く経済の現状と今後について解説していただいた。米韓FTAでは、これまで知られていない情報があり、今後のTPPに対する活動に役立ちそうである。今後も各分野の情報の収集と分析に努め、会員各位とともに、情報の共有をすすめたいと考えている。

お知らせ 女性医師等就労支援フォーラムのご案内 《主催：北海道 後援：北海道医師会》

◇ 医療関連事業部 ◇

北海道では、道内の医師不足対策として喫緊の課題となっている女性医師等の離職防止や再就業の促進を図るため、離職している女性医師等の掘り起こしや、医療機関において女性医師等が仕事と育児等を両立しやすい職場環境づくりの理解を深めることを目的に、次のとおりフォーラムを開催いたしますので、多数の方々にご参加いただきたくご案内いたします。

日時 平成25年10月5日(土) 13時00分

対象者 医師、研修医、医学生、医療機関関係者

テーマ 家庭と仕事を両立しながら笑顔で働き続けるために…
基調講演「女性医師も男性医師も輝いて生きるために」

講師・東京女子医科大学 片井みゆき准教授

座長・北海道医師会 藤井美穂常任理事

ワークショップ (15時00分終了予定)

※育児と仕事を両立している医師をパネリストとし、女性医師等のキャリア支援等について参加者を交えてディスカッションを行います。

会場 ホテルさっぽろ芸文館3階 清流の間

参加費 無料